

呼吸器外科の紹介

呼吸器外科では胸の中にある肺、縦隔などの病気を中心に手術を行っています。病気の診断、評価は呼吸器内科、放射線科、病理診断科と連携して行われ、手術で良くなる状況かどうかを判断しています。

手術症例の6～7割は**肺がん**であり、命に関わる病気でもあるため肺がんには最も力を入れています。がんを治すことにこだわり、手術手技はもちろん、放射線、薬物療法を組み合わせることにより手術で治るかどうか、ぎりぎりのところで差のつく高度な医療を提供できるよう心掛けています。病気が見つかった今、過去には戻れません。現在の正確な評価と適切な治療の選択が必要となります。

一方、最近増えているご高齢の患者さんなどにおいては手術に耐えうるか、術後の肺の機能は大丈夫か、などご本人、ご家族ともに心配されるケースが増えています。正確な評価、情報提供を行うとともにご本人、ご家族の意志を尊重して幅広い選択肢の中で治療方針を決定しています。

その他、**気胸**、**縦隔腫瘍**などの多くの病気、難治性の病気などに対しても対応しています。最近増えている肺気腫、間質性肺炎、塵肺などに合併する難治性の気胸に対しては根気よく治療にあたる必要があり呼吸器内科、放射線科と話し合い、多くの治療戦略を立てて対応しています。

今では多くの病院で取り入れられている**胸腔鏡下手術**に関してですが、当院では患者さんへの手術による体の負担、痛みを減らすため、また創部の綺麗さにこだわって、積極的に導入してきました。手術器具も年々進化しており、より安全になっています。今やこの手技が日本に導入されて20年程になり実績のある手技として認知されています。

一般に肺の手術は難易度が高い手技とされています。安全、かつ確実な手術を提供できるよう日々努めています。呼吸器外科領域でお悩みの点があれば当科にご連絡ください。対応致します。

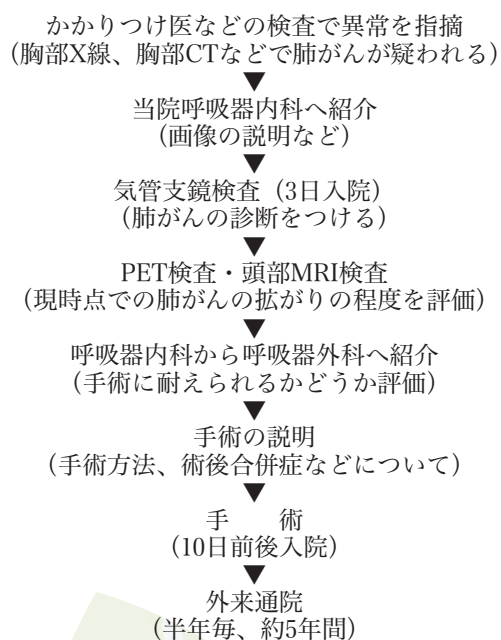
当院・当科の特徴

1. 呼吸器外科で手術を受ける場合、当院病棟最上階である10階の呼吸器専門病棟に入院となります。呼吸器系に専門性の高い医療・看護を安心して受けられると思います。また患者さん同士のコミュニケーションも取

りやすい環境ですので話し相手はすぐ見つかると思います。景色も良いです。高い位置から朝日に照らされる山々、高速道路を走る車、備前富士(勝手に命名)などを眺めるのも気分転換になるかもしれません。

2. 手術は1に安全、2に根治性(がんを取りきる)、3に術後の痛み軽減・創部の綺麗さにこだわっています。以前から手術の多くを胸腔鏡下に行っています。1、2を担保しつつ3にも貢献できています。
3. 通常の肺がんの手術の場合、当院では手術の1～2日前に入院してもらっています。手術は全身麻酔に硬膜外麻酔を併用して行われ、手術時間は数時間、出血量は20ml前後となります。術翌日から食事を開始し術後3日目には身体にはほとんど何もついていない状態にもっていきます。術後疼痛なども考慮し術後7～10日目の退院としています。術後5年間は定期診察、必要により加療することになります。
4. 肺がんの治療は長期にわたることが多いため、患者さんに対しては呼吸器外科以外に呼吸器内科、放射線科、看護師、薬剤師、理学療法士など多くのスタッフが関与します。スタッフ全員で患者さんを支えます。

一般的な肺がんに対する外科治療の流れ



CTから3次元画像を作成



右肺上葉切除術を想定

手術風景



外来日

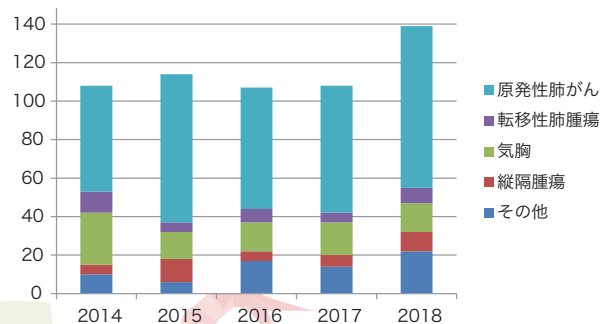
月曜日(平見)、木曜日(安藤、三好)、金曜日(平見)
※2019年4月から変更あり

手術実績

2018年手術件数(全身麻酔)

原発性肺がん	84
転移性肺腫瘍	8
気胸	15
縦隔腫瘍	10
その他	24
計	139

手術件数の推移(全身麻酔)



スタッフ紹介

診療部長：安藤陽夫(1979年卒)

- ・医学博士
- ・呼吸器外科専門医
- ・日本呼吸器外科学会評議員、指導医
- ・日本胸部外科学会指導医
- ・日本外科学会外科専門医、指導医
- ・日本内視鏡外科学会評議員
- ・日本肺がん学会評議員
- ・日本気胸学会評議員
- ・岡山大学医学部臨床教授

医長：平見有(1994年卒)

- ・博士(医学)
- ・呼吸器外科専門医
- ・日本呼吸器外科学会評議員
- ・日本外科学会外科専門医、指導医
- ・日本がん治療認定医機構暫定教育医
- ・日本がん治療認定医機構がん治療認定医
- ・肺がんCT検診認定医など
- ・岡山大学医学部臨床准教授

呼吸器外科医師：三好健太郎(2002年卒)

- ・博士(医学)
- ・呼吸器外科専門医
- ・日本呼吸器外科学会評議員
- ・日本外科学会外科専門医
- ・日本呼吸器学会呼吸器専門医
- ・日本移植学会移植認定医
- ・日本がん治療認定医機構がん治療認定医

呼吸器外科専修医：吉川真生(2015年卒)

- ・学生時に日本呼吸器外科学会主催の呼吸器外科サマースクールに参加しドライラボコンテストで優勝



吉川 平見 安藤 三好